※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学コミュニケーション科

教科	学コミュニケーション	科目	(学) ソーシャルスキルパワーアップ講座入門 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語や日本の生活様式と価値観を学ぶことを通して、自国との違いを認識し、認める力を養います。
また、コミュケーション活動を通して、自立した社会生活を営む力を養います。

2　学習の到達目標

知識及び技能：日本語や日本の生活様式と価値観を学び、理解する。
思考力、判断力、表現力等：日本の社会生活で起こる課題を解決するために考察する力を養う。
学びに向かう力、人間性等：様々な体験活動などを通して、主体的に行動する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会で生きていく基本的な知識と技術の修得と、自分と他者の係りについて理解する。	社会的活動を通し、何が問題点か、どうしたら解決できるかについて考えることができる。	正しい日本語を活用して積極的に質問したり、自分の考えを述べたりすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本語理解	・日本語の会話を通して、一般的なマナーやコミュニケーション方法を理解する。	a:日本語で正しい挨拶などを行える。 b:日本語での会話で、自分の言葉を相手がどの様に受け取るかを考えることができる。 c:積極的に、日本語で質問したり、会話をしたりすることができる。	課題プリント	課題プリント 発言観察	発言観察

※令和４年度以降入学生用

前期	異文化とは？	・ソーシャルスキルの領域ごとの得意・不得意を見える化する。 ・日本の風習を通して、「見える文化」「見えない文化」を考える。	a:普段の生活の中で、得意なこと不得意なことの例を挙げられる。 b:「見える文化」「見えない文化」が、普段の生活のどんなことを指すか考察できる。 c:積極的に意見を出し、自分なりの感想を言える。	課題プリント	課題プリント 発言観察	発言観察
後期	実践的な社会活動	・遠方の目的地へ、公共交通機関を利用した移動を計画する。 ・メールや SNS などの正しい利用について学ぶ。	a:公共交通機関の利用方法を理解している。 メールや SNS の利用方法を理解している。 b:公共交通機関の利用場面を想定し、対処方法を考えることができる。 メールや SNS の利用場面を想定し、対処方法を考えることができる。 c: 積極的に意見を出し、自分なりの感想を言える。	課題プリント	課題プリント 発言観察	発言観察
	まとめ	・これからの生活	b:自分の進路について、考えることができる。 c: 積極的に意見を出し、自分なりの感想を言える。		課題プリント 発言観察	発言観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度